



令和4年度 山形県飯豊少年自然の家所報 <指定管理者㈱ヤマコー>

ひめさゆり 9月号

〒999-0605 西置賜郡飯豊町大字添川 3535-33 TEL 0238-74-2331 FAX 0238-72-2342

山形県飯豊少年自然の家とアドベンチャー 夏キャンプ 2022

飯豊少年自然の家所長 吉水 順一

夏キャンプは、本所がめざす「野性味とたくましい冒険心」、そして「他とかかわる力」の育成に向けた最大の事業です。今年は、「自主性」「仲間と協力」「メリハリ」をキーワードとして、「自然の中で仲間と過ごす5泊6日！山へ！川へ！ 忘れられない夏にする！」をテーマにプログラムを企画しました。コロナ禍でも子どもたちの学びを止めないためにはどんな対策が必要で、どのような配慮・支援等ができるのか検討しながら準備を進めてきました。バス乗車の利用制限等のため、厳選なる抽選に当選した小学4年生から中学3年生までの男女19名での実施となりました。

一日目は、初めての出会いに戸惑いながら活動がスタートしました。自然の家周辺のハイキングコースを使って、二日目に計画している一切経山登山の練習を行いました。急斜面の登り方、滑る斜面の降り方など実践を想定した内容でした。息を切らしながらもお互いに声を掛け合い、助け合いながら取り組んでいる子ども達の姿がありました。

二日目は、5時に起床し福島県の一切経山に向けてバスで出発しました。磐梯吾妻スカイラインを上るにつれ、天候が怪しくなり予定していた不動沢登山口からの出発を諦め浄土平駐車場に向かいましたがそこも強風と強雨でした。そこで、子ども達の安全を考え目的地を吾妻小富士に切り替え暴風雨の中山を登りました。その後、猪苗代湖湖畔で簡単な水遊びとカワセミ水族館の見学を行い自然の家に戻りました。



三日目、天候は回復傾向になり、計画通りエターナルカレンダー作りと、スイカ割り、野外炊飯、花火を行うことができました。しかし、8月3日に発生した置賜地方における大雨被害による断水のため三日目をもってキャンプの中断を余儀なくされました。

コロナ禍と悪天候のため、大きくプログラムを変更してのキャンプとなりましたが、子ども達の感想から「本当の雨と風とはどのようなものなのか初めて体験できて良かった」「天気は大荒れだったが、仲間との絆はいつも以上に深まった」「キャンプ中止は残念だが、いい思い出ができた」等と昨年のキャンプ以上の言葉が自然と出たことに、スタッフ一同心を打たれました。

結果2泊3日という短い夏キャンプになってしまいましたが、お互いに励まし合ったり、気遣ったりしながら、最後まで様々な活動に挑み、見事にやり遂げられたことが何よりも大きな成果だと思っています。

予定通りにいかないことなども含め、どれもこれもすばらしい思い出になったことでしょう。いつもより短い夏キャンプでしたが、いつもの年と変わらない感動と発見があり



ました。参加いただいた皆さん、本当にがんばりました。

そして、子ども達を一番近くで見守り、励まし、支援して下さったホームリーダーの皆様、本当にありがとうございました。皆様のおかげをもちまして、素晴らしい時間となりました。特に高校生をはじめとする若いホームリーダーの存在は、参加した子どもたちのあこがれとなり、その後に続く思いとなったような気がします。深く感謝申し上げます。

本所では、新型コロナ感染拡大予防に留意しながら、これからも皆様の願いと期待に応え、豊かな学びと感動のある事業を展開してまいります。新しい発見と素晴らしい感動が得られるよう準備して、皆様のお越しをお待ちしております。



いいでファミリーキャンプ!



家族のふれあい事業「いいでファミリーキャンプ2022」を8月27日(土)~28日(日)に1泊2日で実施しました。たいへん多くの申込みをいただきましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、抽選で選ばれた13組のファミリーで開催となりました。



一日目のプログラムは、テント設営、いも煮づくり、夜はドラム缶風呂を楽しんでから、「焚火でフリータイム」。雨の中でしたがテント泊をしました。二日目は「手作りホットケーキ」の朝食、その後、フォトフレームづくりを行い、最後の昼食時には、家族で一斗缶ピザをつくり食べました。雨の中でのテント泊となりましたが、「雨音を聞きながら一夜を過ごせた体験は貴重だった。」という参加者からの感想も聞かれ、ファミリーの絆を一層深めることができました。



家族でチャレンジ

9月17日(土)に家族のふれあい事業「家族でチャレンジ」を実施しました。一昔前は、近くの川原で石を積み上げ仲間と芋煮会があたりまえでしたが、現在は様々な規制もありそのような姿は見られなくなりました。そこで、今回は家族で協力して竈をつくり、昔ながらの芋煮会を楽しんでもらいたいという願いで開催しました。お父さんが一生懸命にブロックを積み上げ、子どもさんと一緒に薪を組み、美味しい芋煮をつくる姿に、山形の秋の姿を感じることができました。



第2回夜空を見上げよう



9月25日(日)に感性育成事業「第2回夜空を見上げよう」を実施しました。昨年まで、春から夏にかけて2回開催していましたが、今年度は秋の星座も学びたいという参加者からの声をもとに9月に開催しました。いいで天文台の協力を得て、ペガサス(ペガサス)座やカシオペア座、そして木星と土星を大型望遠鏡で観ることができました。